

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	自己評価・外部評価結果を運営推進会議で報告するに当たり、概ね目標達成計画の報告に留まり、進捗状況や計画の達成度など伝えられていなかった。	年度計画に、外部評価結果から立てた目標達成計画に基づいた具体的な取り組みが組み込み、進捗状況を運営推進会議で報告していく。その報告について運営推進会議で意見等あれば取り組みに生かしていくサイクルを確定する	①目標達成計画に基づいた具体的な取り組みが年度計画に組み込める。 ②取り組みへの進捗状況を運営推進会議で報告し、それに対する意見等を取り組みに反映する。 ③上記②をサイクル化しサイクルの確立を図る。	12ヶ月
2	35	大地震、大雨、台風と自然災害が多く起きている中、備えが万全かどうか、点検の必要性がある。	災害が起きても、被害の心配がないように、点検、整備を定期的に行っていく。	建物内外の不安箇所については、迅速に修繕をしていく。	3ヶ月
3	23	入居者としみじみ話をしたり、元気になってもらうために職員間で相談をして工夫したりと、真摯なケアが、全職員で今後も継続できる必要がある。	全ての職員が入居者の思いを汲み、真摯な受け止め方ができ、その思いを継続出来る方策がある。	①入居者に喜んでもらったこと、嬉しかったことをヒヤリハットの用紙に記入掲示し周知していく。 ②職員会議で上記について意見交換し、再確認する。	12ヶ月
4	20	入居者が馴染みの人や場所との付き合いを続けられる工夫がもっと必要である。	入居者が馴染みの人や場所との付き合いを続けられ、交流できる場所や機会が増える。	①地域のふれあいの場《ふれあい喫茶や地域のイベント等》に継続して参加していく。 ②施設行事に馴染みの方々を招待し、交流できる機会を増やす。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。